

なぜ「不安」は消えないのか

—脳科学からみた福島原発事故

伊藤浩志さん講演会

日時

平成28年10月2日(日)

午後13時30～15時30分

場所

山形県米沢市上新田1166 あおぞら館
現地集合可・福島市からの送迎あり(要予約)

参加費

無料 定員30名

みすず書房の月刊誌『みすず』に、放射線不安をテーマにした「なぜ『不安』は消えないのか」を連載された、伊藤浩志さんを講師にお招きし、講演会を行います。講演会の後に、NPO法人青空保育たけの子代表の辺見より「自然の中での遊びは子どもの情動を育てる」のお話があります。お子様連れでもお気軽にお越しください。

スケジュール

13:30 ~ 14:30	講演会 伊藤浩志さん なぜ「不安」は消えないのか —脳科学からみた福島原発事故
14:30 ~ 15:00	質疑応答
15:00 ~ 15:30	講演会 辺見妙子 自然の中での遊びは子どもの情動を育てる

なぜ「不安」は消えないのか—脳科学から見た福島原発事故

みなさん、「不安」をどのような生命現象とお考えでしょうか。

危険を察知する身体の警報装置が働いたとき、不安を感じます。トカゲ、カラス、イヌ、ネコ、みんな人間と同じ警報装置を使っています。長い生物進化の歴史の中で、同じ警報装置利用し続けているということは、「不安を感じる」ことが、生きるためにとても大切な役割を果たしていることを意味します。脳の障害で不安を感じるができなくなった人は、頭では分かっているのに、常識的な判断ができず、社会生活が営めなくなります。

脳科学の世界で解明されてきた不安を感じるメカニズムについて、最先端の研究成果を紹介します。そのうえで、放射線不安について、みなさんと考えていきたいと思ひます。

伊藤浩志さん プロフィール

フリーランス・ライター。静岡県出身。元新聞記者。東京大学大学院博士課程修了。学術博士。専門は脳神経科学。ストレスの研究をしていた。震災から約1年後に名古屋市近郊から福島市に移住。福島原発事故について調査している。みすず書房の月刊誌『みすず』に、放射線不安をテーマにした「なぜ『不安』は消えないのか」を連載した(2016年5月号から9月号まで)。

主催 NPO法人青空保育たけの子

お問合せ・お申込み TEL 070-1143-1166 mail aozoratakeonoko@gmail.com